Year: 2018
Location: Japan
Program:

ししいわハウス No.1

軽井沢の敷地を訪れると、そこは美しい樹木が生い茂る軽井沢ならではの林であった。そこでこの樹林を切らずにそれらの木々の隙間に建物をそっと挿入することとした。それ故に、建物のうねったかたちも幅も長さも、この敷地の樹木の状況によって、これしかない無二の形態が自然に導き出された。このルールのないすべての曲率が違うかたちを合理的に構造化する方法として、内壁PHPパネルを曲率に合わせて配置した。既存の樹木の位置により偶然出来上がった有機的なかたちの建築にPHPにより複雑なクラスターをつくり上げたおかげで、すべての部屋はさまざまな景色を取り込んだテラスをもつ。